明月（みょうげつ）

これまでに届けられたキャップ約 5,6kg
（約 2,800 個）

ペットボトルキャップの回収にご協力を！

教区・沼田組で取り組んでいます

【お寺にペットボトルキャップを持ってきてください。いつでも構いません】

→【別院に持って行きます】→【回収業者へ】→【リサイクル業者へ】→【リサイクル資源売却益を「世界の子どもにワクチンを日本委員会」へ寄付】→【ユニセフと連携し購入されたワクチンが各支援国へ】→【子どもたちへ接種】

ペットボトルキャップ2kg（約 1,000 個）が１人分のワクチン（20円）になります。

ご注意

・飲料水のペットボトルキャップに限らせていただきます。
・洗って乾かして持ってきてくださると助かります。

【みょうげつ】
第 158 号
〈発行〉
令和 7 年 5 月 20 日
〈発行所〉
明法寺
安佐町久地 5627
電話 837-0348
FAX 837-2770
〈編集〉
寺尾　仁

住職一語

皆さんこんにちは。新緑が眩しい今日この頃、お変わりございませんか。車で走っていてもとても気持ちの良い季節ですね。真夏の前のこの一瞬、楽しんでおきたいと思います。

さて、仏さま(仏像)の手足に水かきがあることをご存知ですか。これは「三十二相」(仏にそなわる３２の優れた身体的特徴)の一つの「手足指縵網相（しゅそくしまんもうそう）」といって、手足の指の間に「鳥の水かきのようなもも」があるのです。（北伝の『註釈書』では、「指の間にある鳥の水かきのような膜」と説明されているようです）

間野平から明法寺方向を望む

明法寺のご本尊にも水かきはあるのでしょうか・・・。次頁の写真をご覧ください。少しわかりにくいですが、確かに指と指の間がくっついています。それが「水かきのようなもの」なのです。

この「水かき、あるいは水かきのようなもの」、ご法話や説明書などでは「どうして水かきがあるのか。それはすべてのものを漏らさず救い取り、決して見捨てないという心を表しています」と味わい、説明されています。なるほど、仏さまのお救いのおはたらきはありがたいなといただくことができます。

しかし、どうして「水かき」が「すべてのものを漏らさず救い取る」ということになるのか、今ひとつしっくりしませんでした。なぜなら水かきは、「水中で泳ぐ際に、水をかくための面積を増やし、泳ぎやすくするためにあるも